

寿小学校 第4回学校運営協議会 議事録

1. 日時 令和5年2月16日(木) 13時30分～15時
2. 場所 会議室
3. 出席者
 - ・中山 一美 様(民生委員)
 - ・新島 洋 様(民生委員)
 - ・茂垣恵美子 様(民生委員)
 - ・柳橋 剛 様(寿市民センター長)
 - ・後藤 通子 様(市議会議員、元PTA会長)
 - ・齋田由加理(校長)
 - ・興野 庄一(教頭)
 - ・谷田部裕一(教務主任)
4. 内容
 - ・授業参観 13:50～14:10
 - ・学校からの説明並びに熟議
5. 説明
 - ①2学期(12月以降)、3学期実施した学校行事の紹介
 - ・ボランティア活動(全校)
 - ・福祉体験(5年)
 - ・校外学習(3年)
 - ・不審者対応避難訓練(全校)
 - ・プログラミング学習(6年)
 - ・パレットタイム(全校)
 - ・1年生交流活動(保幼小連携)…3月実施予定 他
 - ②学力向上
 - ・県学力診断のためのテスト結果から
 - 【成果〇と課題●】
 - 5年生は、自校の前年度結果と比べ、平均点が上がっている教科もある。
 - 4、6年生の学力向上が課題である。
 - ※少人数指導、教科担任制等、個に応じた指導を今後も効果的に実践していく。
 - ③地域連携行事
 - ・コロナ禍の状況を踏まえながら、できることを進めてきた
 - ④次年度の在籍数
 - ・令和5年度…約560名 通常学級18 特別支援5
6. 協議内容
 - ①学校評価
 - ・全体的に肯定的な評価をいただいている。特に、項目「7」「9」「12」「15」「16」については、約90%であり評価を得ている。
 - ・項目「2」「4」「5」「13」については、評価が低く、今後の対応の改善が求められる。
 - ・宿題等は、今後、適切な出し方や量など改善が必要である。
 - (話し合い内容)
 - ・タブレットの使い方は、家庭においてゲーム等をしている児童もいる。ルール作りや指導を適切に行い、効果的な活用を検討する必要がある。
 - ・高学年になるにつれて、不登校数が増えている。保護者からの相談等に、丁寧で組織的な対応が必要である。
 - ・紙媒体からメール配信等のデジタルに移行したが、各種便り等を紙媒体でも欲しいという声もある。対応を考えていく必要がある。
 - ・保護者との連携は今後も課題であり、大切なことである。
7. その他
 - ・次年度の学校運営協議会委員の選出について
 - ・子供は地域で育てていくという観点から、学校公開日について、地域の方からも実施して欲しいという声が上がっている。
 - ・放課後等、地域での子供の受け皿について、寿市民センターにおいて「ステップ」という学習支援を毎週土曜日の午前中に行っている。対象は、要保護、準要保護家庭対象。参加している児童が少ない状況である。